

# アジア経済の次の成長モデル — 「世界の工場」を超えて —

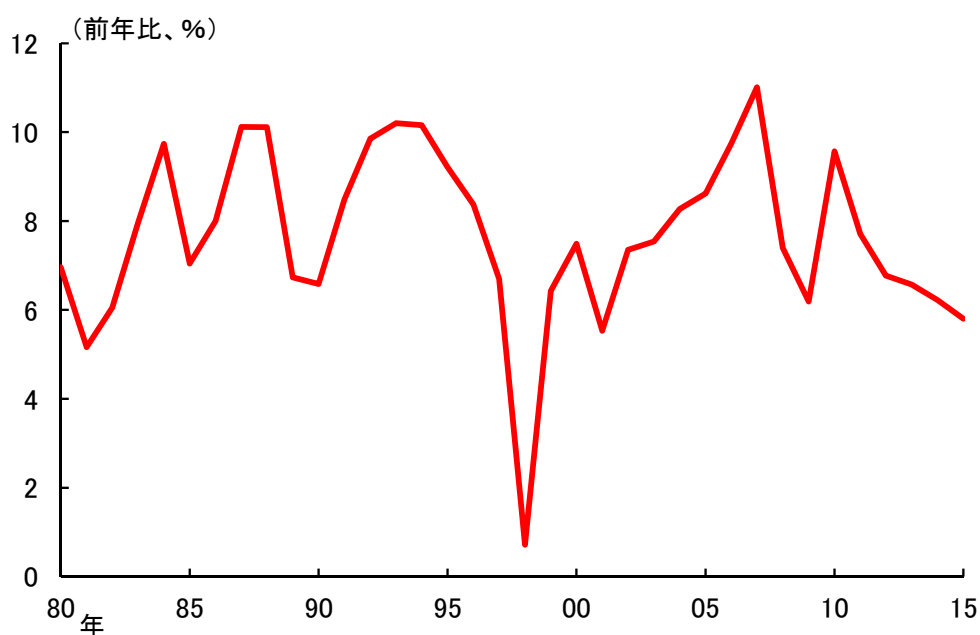
2017 北東アジア経済発展国際会議イン新潟における講演

2017年2月14日

日本銀行総裁  
黒田 東彦

図表 1

## アジアの実質GDP成長率

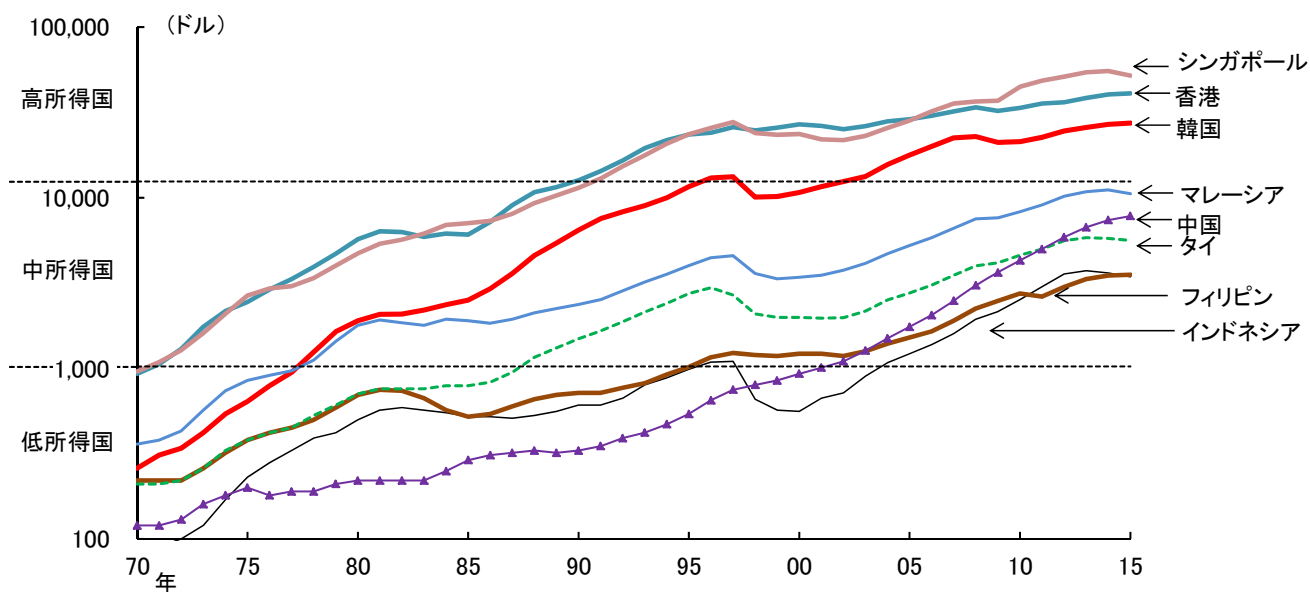


(注) 直近は2015年。アジアは、中国、NIEs (韓国、台湾、シンガポール、香港)、ASEAN (インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン) の計9か国。

(資料) IMF

図表 2

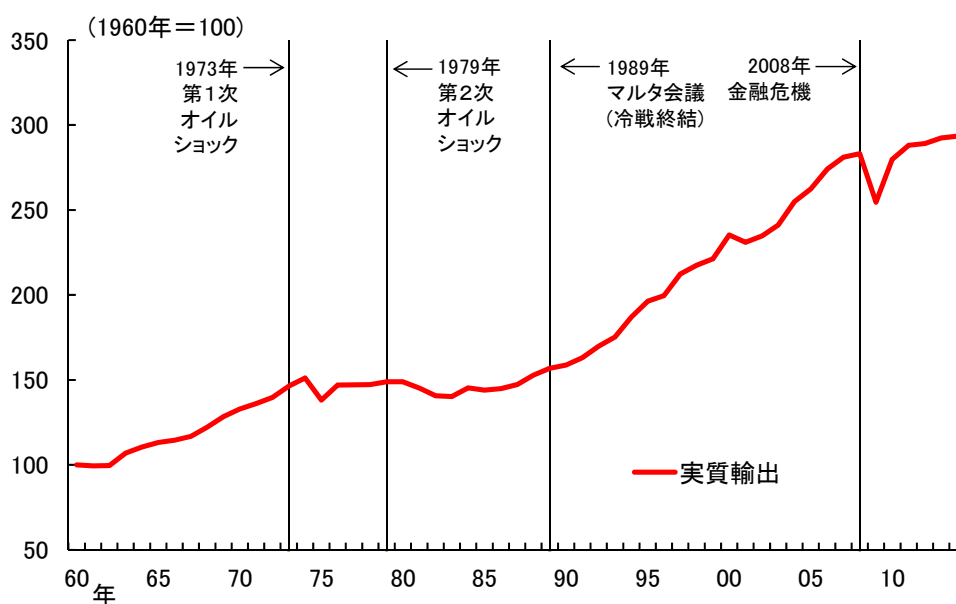
## アジア各国の一人あたりの所得 (GNI)



(注) 直近は2015年。  
(資料) HAVER、世界銀行

図表 3

## 世界の貿易量 (対世界の実質GDP比率)



(注) 直近は2014年。  
(資料) WTO

## 輸入の実績値と推計値の乖離

(実質輸入の外挿推計値からの乖離<寄与度、%ポイント>)

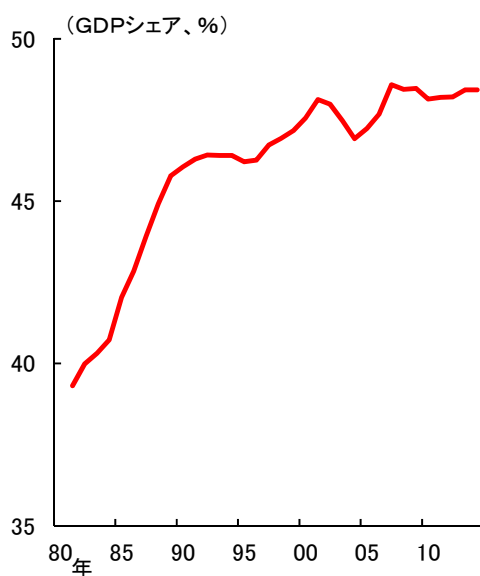
	米国	ユーロ エリア	英国	日本	中国	NIEs* ASEAN	ラ米	合計
素材(燃料)	▲ 0.10	▲ 0.10	▲ 0.06	0.02	0.02	0.02	0.01	▲ 0.2
素材(原材料)	▲ 0.00	▲ 0.03	▲ 0.00	▲ 0.02	▲ 0.12	▲ 0.02	▲ 0.01	▲ 0.3
中間財(一般原材料)	▲ 0.01	▲ 0.06	0.00	▲ 0.03	0.04	▲ 0.03	▲ 0.01	▲ 0.7
中間財(化学工業原材料)	▲ 0.05	▲ 0.06	▲ 0.02	▲ 0.03	▲ 0.07	▲ 0.07	▲ 0.02	▲ 0.9
中間財(一般部品)	▲ 0.03	▲ 0.07	▲ 0.01	▲ 0.01	▲ 0.22	▲ 0.27	▲ 0.01	▲ 0.9
中間財(輸送用機械部品)	0.02	0.02	▲ 0.00	0.00	▲ 0.02	▲ 0.04	▲ 0.01	▲ 0.2
資本財(輸送用機械を除く)	▲ 0.14	0.08	▲ 0.07	▲ 0.04	▲ 0.18	▲ 0.20	▲ 0.07	▲ 1.7
資本財・最終財(輸送用機械)	0.08	▲ 0.04	0.04	0.01	0.02	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.3
最終財(耐久消費財)	▲ 0.08	0.02	▲ 0.04	▲ 0.04	▲ 0.02	▲ 0.05	▲ 0.01	▲ 0.6
最終財(非耐久消費財)	0.01	▲ 0.00	▲ 0.01	▲ 0.02	0.01	▲ 0.01	▲ 0.00	▲ 0.2
合計	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 6.1

(注) 2003~2006年のGDPに対する輸入の弾性値から2012~2014年の輸入量を外挿推計し、輸入伸び率実績との差を寄与度分解。シャドーが濃いほど、マイナスの寄与度が大きい。

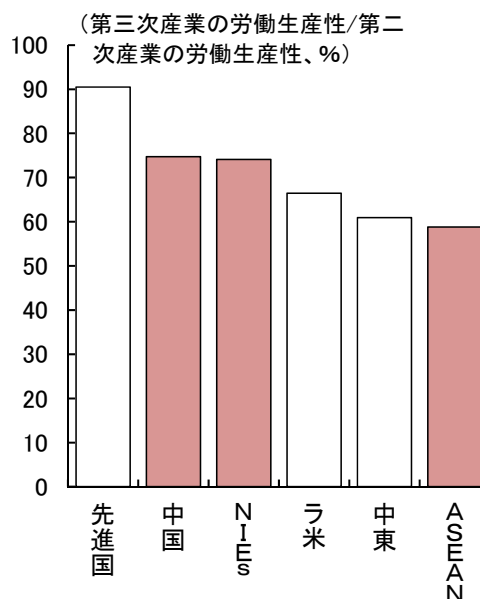
(資料) UN Comtrade、HAVER

## アジアの第三次産業

### アジアの第三次産業のシェア



### 第三次産業の労働生産性

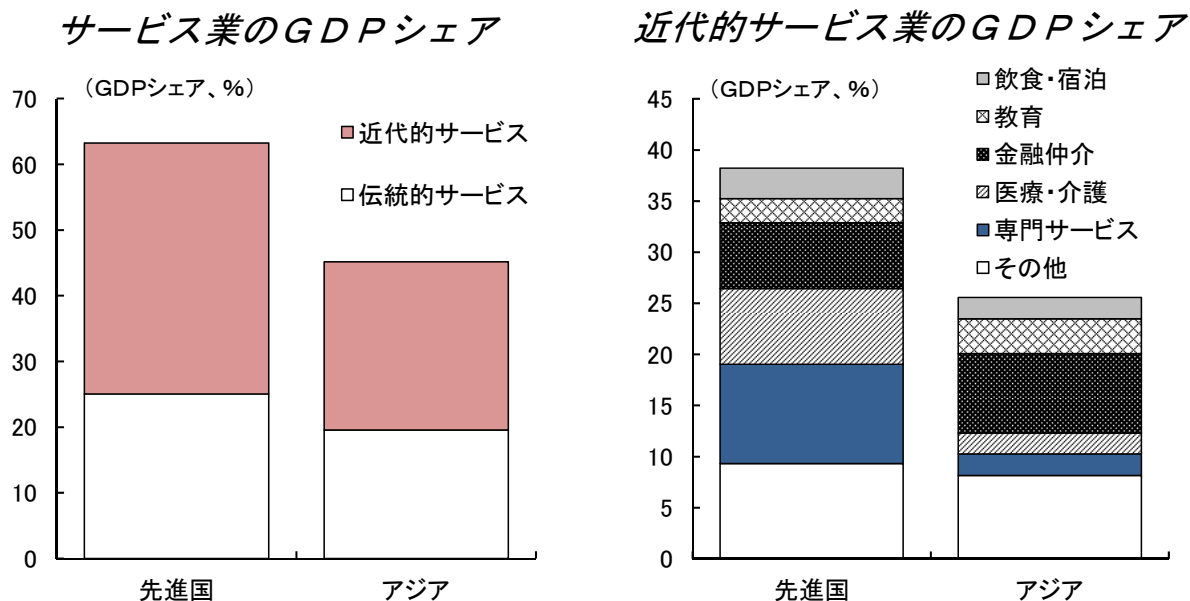


(注) 1. 左図の直近は2014年。右図は2011年の値。

2. 先進国は、OECD加盟国のうち27か国。アジアは、中国、NIEs(韓国、台湾、シンガポール、香港)、ASEAN(インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン)の計9か国。

(資料) 国際連合、世界銀行、Penn World Table

# サービス業のGDPシェア



(注) 1. 先進国は、イタリア、ドイツを除くG7メンバー国。アジアは、中国、NIEs (韓国、台湾、シンガポール、香港)、ASEAN (インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン) の計9か国。  
 2. Eichengreen and Gupta (2013)に基づいて、近代的サービス、伝統的サービスに分類。  
 3. 2015年の値。一部の国についてはデータ制約から利用可能な直近年の値を用いて算出。  
 (資料) 経済産業研究所、CEIC、B. Eichengreen and P. Gupta (2013), "The Two Waves of Service-Sector Growth," *Oxford Economic Papers*, 65(1), 96-123

図表 7

# アジア各国のインフラ指標

(先進国=10)

サービス業の労働生産性	サービス貿易制限指数 <sup>注2</sup>	知的財産権の保護	法律・規制			社会資本		教育
			労働市場	事業環境		交通網の質 <sup>注4</sup>	電力供給の質	教育年数
↑高			解雇障壁 <sup>注3</sup>	起業障壁 <sup>注3</sup>	汚職度 <sup>注3</sup>			
シンガポール	N/A	11.9	11.8	10.2	12.3	12.1	10.6	9.6
香港	N/A	11.5	11.2	10.2	11.4	12.3	10.7	10.1
台湾	N/A	10.8	3.0	10.0	9.4	10.7	9.8	9.8
韓国	9.9	7.3	3.0	10.0	7.3	10.6	8.8	10.7
マレーシア	N/A	9.8	5.0	10.1	8.9	10.5	9.1	9.2
タイ	N/A	7.0	1.6	9.4	5.9	7.9	8.1	7.1
インドネシア	6.5	7.5	0.0	8.3	6.1	7.7	6.9	6.7
中国	7.3	7.9	3.0	9.3	6.9	9.0	8.3	7.0
フィリピン	N/A	7.5	3.0	9.0	5.9	6.2	6.6	7.5

(注) 1. 8未満の項目は赤、8以上9未満の項目はオレンジ。  
 2. サービス貿易制限指数は、0に近づくほどサービス貿易の制限が大きいことを示す。  
 3. 解雇障壁、起業障壁、汚職度は、0に近づくほど障壁または汚職度が大きいことを示す。  
 4. 道路の質、鉄道の質、港湾の質、航空輸送の質の平均。  
 5. 先進国は、OECDの加盟国のうち27か国。  
 (資料) OECD、World Economic Forum、R. Barro and J. W. Lee (2013), "A New Data Set of Educational Attainment in the World, 1950-2010," *Journal of Development Economics*, 104, 184-198  
 J. Gwartney, R. Lawson, and J. Hall (2015), "2015 Economic Freedom Dataset," *Economic Freedom of the World: 2015 Annual Report*, Fraser Institute